



不整脈外科治療の検討

1981年12月1日から2023年8月31日までに日本医科大学付属病院心臓血管外科にて心房細動あるいは心室頻拍のために外科治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「不整脈外科治療の検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、1981年12月1日より2023年8月31日までに日本医科大学付属病院心臓血管外科にて、心房細動あるいは心室頻拍のために外科治療を受けられた患者さんの治療効果を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：不整脈外科治療の検討

研究期間：研究実施許可日～2026年10月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 心臓血管外科 大学院教授 石井庸介

(2) 研究の意義、目的について

不整脈の外科治療はほかの外科手術と異なり、目に見えない不整脈の原因となる病変を扱うため、手術前や手術中に不整脈の検査を行い、手術の部位や方法を決定します。手術後の経過から不整脈への外科治療が有効であったかを判定しますが、手術方法とその有効性との関係についてのまとまった報告はありません。本研究では、心房細動と心室頻拍に対する外科治療の手術方法と治療効果の関係を明らかにするため、当院で過去に手術を受けられた患者さんの診療録のデータを解析し、手術方法の種類とその有効性を検討します。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

1981年12月1日より2023年8月31日までに、日本医科大学付属病院心臓血管外科にて心房細動や心室頻拍に対して外科手術を受けられた患者さんの診療録のデータを解析し、手術方法の種類と治療効果の関係について検討します。

試料：なし

情報：年齢、性別、手術前の不整脈の特徴、手術内容（術式、部位、方法など）、手術後合併症、生存、死亡の場合死因、不整脈の再発と新規発生。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 心臓血管外科 大学院教授 石井庸介

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24078

メールアドレス：yosuke-i@nms.ac.jp